



週報

カトリック 園田教会

A年

2014年
8月10日(日)

No. 1912



8月10日(日) 年間第19主日

ミサ 9:00 ショヴァンニ神父

日本カトリック平和旬間

今日の聖歌と祈り

入祭の歌 : 典礼聖歌 109 主に近づいて

答唱詩編 : 「聖書と典礼」をご覧ください

アレルヤ唱 : 「聖書と典礼」をご覧ください

奉納の歌 : 典礼聖歌 393 主が手を とって起こせば
(これぞ神の みわざ)

主の祈り : 典礼聖歌 主の祈り

拝領の歌 : プリント ひせきにこもりて(カトリック聖歌246番)

皆で唱える祈り : プリント 平和を願う祈り

閉祭の歌 : 典礼聖歌 391 ごらんよ空の鳥

今日の典礼奉仕者

先唱	本田
聖体奉仕	Sr.辻家
第1朗読者	池田(壮)
第2朗読者	小野
共同祈願・意向担当者	① 上村 ② 岡田 ③ 陣之内 ④ 古市
奉納と献金	総務委員会
典礼当番	佐藤、市瀬
答唱詩編	全員
オルガン奉仕者	山田

今日の行事・他

- ・平和祈願の集い(阪神地区尼崎ブロック):
テーマ:「平和について、音楽をとおして思いをはせる集い」
会 場:園田教会 13:00~16:30

お知らせ

- ・「平和祈願の折りヅル」のご協力ありがとうございました。
みなさんの心のこもった折りヅルは454羽でした。
(内訳) NO 戦争 : 124羽、 NO 原発 : 113羽、
命は宝 : 46羽、 愛 : 171羽
(社会活動委員会)



過去を振り返りながら将来にむけて 平和を実現する者になりましょう

2014年の平和旬間にあたり全国の信者の皆さんに挨拶をおくります。

1981年広島を訪れたヨハネ・パウロ二世は言われました。

「戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。この広島の町、この平和記念堂ほど強烈に、この真理を世界に訴えている場所はほかにありません。」(「広島平和アピール」)……

わたしたちは、あらためてアジア・太平洋戦争に至ったときの流れを振り返りながら、日本国民として、またカトリック教会のメンバーとして、この戦争の引き起こした悲しい結果に対する責任を自覚しなければならないと思います。

アジア・太平洋戦争の悲劇を経て制定された日本国憲法は、第9条で「国際紛争を解決する手段としての戦争の放棄と戦力の不保持」を誓いました。この平和憲法のおかげで、わたしたち日本国民は、このほぼ70年もの長きにわたり、戦争で誰も殺さず、誰も殺されないで過ごすことができたのです。この事実は実に人類の歴史上稀なことであり、世界に誇る実績なのです。……しかし安倍内閣は、集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更の閣議決定によって、この憲法を踏みにじりました。平和的生存権のためには、集団的自衛権の行使(参戦)も必要というものですが、犠牲を伴わない戦争はありません。……わたしたちの平和的生存権は……戦争によって守られるはずがありません。また人々の犠牲の上に成り立つ平和的生存権などありえないのです。……

「平和を築くには、戦争をする以上に勇気を必要とします。出会いを受け入れ、対立を退けるには勇気が必要です。暴力でなく対話を、敵意ではなく和平を、挑発ではなく協定の尊重を、これらすべてには大きな勇気が必要です」。教皇フランシスコが言われた言葉です。

平和旬間にあたり教皇が言われるこの勇気をもって、過去を振り返り反省しながら、相互の信頼と尊重を基調とする対話を通して平和を実現する者となるよう努め、そのために祈りましょう。

(2014年平和旬間 日本カトリック司教協議会 会長談話から(抜粋))



今週の暦

8月11日(月) 《記》聖クララおとめ
集会祭儀 7:00～

8月12日(火) ミ サ 7:00～ ジョヴァンニ神父

8月13日(水) ミ サ 7:00～ ジョヴァンニ神父

8月14日(木) 《記》聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者
ミ サ 7:00～ ジョヴァンニ神父

8月15日(金) **《祭》聖母の被昇天**
ミ サ 9:00～ ジョヴァンニ神父
わかちあい(ミサ後)
日曜学校(信仰教育)お泊り会(～17日まで)

8月16日(土) ミ サ 7:00～ ジョヴァンニ神父
・教会清掃(ヨゼフ会)

8月17日(日) 年間第20主日
ミ サ 9:00 ポナツィ神父
・共同体の日
・日曜学校(信仰教育)お泊り会(最終日)
・総務委員会(議題:教会バザーの件)

